

資源管理型漁業推進総合対策事業*

抄 録

－ 広域回遊資源調査（ヒラメ）－

樫山 晃晴

紀伊水道東部に分布するヒラメに関しては、これまでに栽培主導型の観点で補足的に取り上げられた程度で十分な調査がされていない。そこで、今回はヒラメの天然資源の潜在能力と現実の利用状況を明らかにすることを目的とし、以下の調査を行った。

- A 生物調査：体長－体重関係、成長、成熟、外部形質、死亡率（生残率）、移動
- B 漁業情報：漁獲量、漁獲物のサイズ特性、漁場特性、漁獲物の年齢構成、年級間の体格差
- C 経済情報：漁家経営、流通実態・価格形成
- D 資源解析

なお、詳細については「平成6年度資源管理型漁業推進総合対策事業報告書（広域回遊資源）、和歌山県」（平成7年3月）に報告されている。

*水産業振興費による。